

修了式～4月に会いましょう

3月24日号

すみれっ子が歓声を上げて校門を出ていきました。修了式が先程無事に終了しました。子どもたちには自由で楽しい2週間が待っていたはずでしたが今年は、新型コロナウイルスの影響で旅行の制限やイベントの自粛があり外出さえままならない状態です。そんな重苦しい世情ではありますが、新学年に向け、心と体の準備をしっかりとしてほしいと願っています。4月8日が始業式です。新学年の目標をもって登校してきてほしいと思います。ともあれ30秒手洗いに心がけて「いのち一番」で春季休業を過ごしてください。

さて、外出は制限されていますが、天上の星を楽しむことは、可能ですね。私は、子どもの頃から雲や星など空を眺めることが大好きでした。いつまでも眺めていても飽きることはありません。以前カナダで見たオーロラは、一生の思い出として今も目の前に浮かんできます。このオーロラのような特異な現象でなくても空には心を穏やかにする力があります。特に星にはその力が大きいと私は確信しています。昔の人は、無数に輝く星を結び、星座を創りました。すごい想像力ですね。現在88の星座が認定されています。この時期、最も有名なのがオリオン座です。砂時計のような形のくびれた位置に3つ星が特徴的と言えます。

その左肩の位置で赤く妖しく輝く1等星ベテルギウス。その光が弱まり近い将来、爆発するのではないかと言われています。爆発すれば明るさが月ぐらいに強まりしばらくの間は、昼間でも見えるそうです。一生に一度あるかないかの大スペクタクルですが、宇宙のスケールは、人の感覚とはかなり異なります。というのも近い将来は、明日かもしれないし、100万年後かもしれないというもののなのです。広大な宇宙では近いという概念が計り知れないというものでしょう。ベテルギウスは、地球から640光年も離れているそうです。これは、明日爆発してもその光が地球に届くまで640年かかるので、私には知ることができません。いずれにしろ私が大好きなオリオン座の形が崩れるのはもう少し先になるということのようです。まだまだ星を見て癒される毎日がおくれそうです。

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の考察です。詳しくは、学校ホームページをご覧ください。20mシャトルランや50m走は、男女とも全国平均を上回っていました。また、男子のソフトボール投げや女子の上体起こしも上回っていました。しかしながら、昨年続き長座体前屈は、かなり劣っていることが分かりました。体育の授業における準備運動などに基礎的な運動を幅広く取り入れることにより、柔軟性を高めていきたいと考えます。

今年度も愛読ありがとうございました。来年度が良い一年となるよう心から願っています。4月に会いましょう。

すみれ小学校長 水津嘉應